



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デサント
 コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役ロジスティクス管掌 (氏名) 辻本 謙一
 兼スタッフ管掌
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL) 06-6774-0365

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	96,828	12.2	7,445	40.4	7,722	35.4	5,770	39.4
27年3月期第3四半期	86,335	13.7	5,303	47.7	5,702	47.6	4,140	51.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,425百万円(△32.8%) 27年3月期第3四半期 5,099百万円(12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	76.60	—
27年3月期第3四半期	54.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	106,127	67,574	63.7
27年3月期	95,396	65,278	68.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 67,574百万円 27年3月期 65,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	12.1	10,500	14.9	11,000	15.3	7,600	15.8	100.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	76,924,176株	27年3月期	76,924,176株
28年3月期3Q	1,586,728株	27年3月期	1,586,376株
28年3月期3Q	75,337,631株	27年3月期3Q	75,341,530株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は96,828百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は7,445百万円（前年同四半期比40.4%増）、経常利益は7,722百万円（前年同四半期比35.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,770百万円（前年同四半期比39.4%増）となりました。

当社グループは、当期を最終年度とする中期3ヶ年計画「Compass 2015」の達成に向けて、「海外事業の更なる拡大」と「国内事業の再建」を事業方針として取り組み、数値面では前期において最終年度の目標である売上高1,200億円、営業利益80億円、当期純利益50億円を達成しています。定性面においては、海外、国内ともに課題解決のための構造改革を推し進めることはもとより、海外事業における「デサント」ブランドのリテール事業への取り組みをはじめとしたグローバル化の推進、国内事業における店頭消化率の向上を目的とした自主管理売場の拡大などに積極的に取り組んでいます。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

セグメントの名称	売上高(百万円) (前年同四半期比)	セグメント利益又は損失(百万円) (前年同四半期比)
日本	41,405 (101.6%)	932 (前年同四半期44百万円)
アジア	53,667 (120.3%)	6,574 (127.4%)
欧米	1,755 (181.6%)	△13 (前年同四半期70百万円)

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(日本)

品目によるばらつきはあるものの、アスレチックウェアとアウトドアウェアが概ね堅調に推移、ゴルフウェアが若干苦戦し、全体として売上高は前年実績を若干上回りました。損益面でも戻り品の減少、返品調整引当金繰入額の減少により改善しました。

(アジア)

韓国ではアスレチックウェア及びアウトドアウェアが好調に推移し、ゴルフウェアも堅調に推移しました。中国および香港においても概ね堅調に推移しました。為替の影響もあり、全体としても売上高、利益ともに前年を上回りました。

(欧米)

北米ではスキーウェアを中心とした事業を行っておりますが、堅調に推移しました。また、第2四半期連結会計期間末において、Pedes Investments Limited社及びその子会社（イノヴェイトグループ）を連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結会計期間よりイノヴェイトグループの業績を含んでいます。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(品目別売上高)

区 分	金額(百万円)	構 成 比(%)	前年同四半期比 (%)
アスレチックウェア及びその関連商品	63,202	65.3	114.3
ゴルフウェア及びその関連商品	25,418	26.2	104.9
アウトドアウェア及びその関連商品	8,207	8.5	120.7
合 計	96,828	100.0	112.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「デサント」は国産の高い技術により高い保温性と快適性を持つ「水沢ダウン」が話題となり、好調に推移、「アリーナ」も堅調に推移しましたが、「ルコックスポルティフ」、「アンブロ」は苦戦しました。アジア市場においては、韓国で「デサント」が業容拡大により大きく売上を伸ばし、中国や香港においても概ね堅調に推移しました。

主なトピックスとしては、「デサント」では、国内において新しいライフスタイル提案の直営新業態である「デサント ブラン」を9月に東京と福岡、11月に大阪にオープンしました。更に、世界各国への拡大を目的に、初のグローバルフラッグショップである「デサント ショップ ロンドン カーナビー ストリート」を11月に英国ロンドンにオープンしました。2016年中にもヨーロッパにおいて新店舗のオープンを予定しています。「アリーナ」では2016年に向けて新たに開発した競泳用トップモデル「アクアフォース ライトニング」を11月に発表いたしました。同商品は契約する選手を活用したプロモーションを行いながら、2016年1月より発売を開始いたします。さらに、10月には、関西での直営初出店となる「アリーナショップ 大阪」を「グランフロント 南館」にオープンしました。また、シューズ事業および海外事業の拡大を目的に、8月に欧米をはじめ世界約60カ国で「イノヴェイト」ブランドのトレイルランニング用オフロードシューズなどを展開するイノヴェイトグループを子会社化いたしました。今後、同社の持つ高い開発力を活用した当社のシューズ事業全体の拡大と、グローバルな事業拡大を推し進めていきます。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「ルコックスポルティフ」は売上を伸ばしましたが、「マンシングウェア」は減収となりました。アジア市場においては、韓国、中国、香港ともに概ね堅調に推移しました。また、新たに「デサント」のゴルフカテゴリーを2015年春夏から国内と韓国でスタートしています。

主なトピックスとしては、「マンシングウェア」において、ブランド生誕60周年の記念ポロシャツ、セーターやパンツをアジア各国で販売しました。また、2016年1月からは、日本を除くアジアの各国におけるブランドキャラクターとして、海外での人気も高い木村拓哉さんを起用し、ブランドの認知度向上を図っていく予定です。「ルコックスポルティフ」では、ウェア着用契約をしているイボミプロが2015年LPGAツアー賞金女王に輝き、ブランドイメージ向上に繋がりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「デサント」のスキーウェア、「マーモット」ともに売上を伸ばしました。また、韓国及び北米においても「デサント」が順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は106,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,730百万円増加致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ5,236百万円増加し、73,448百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少2,452百万円、受取手形及び売掛金の増加1,336百万円、商品及び製品の増加5,831百万円などによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ5,494百万円増加し、32,679百万円となりました。これは主にのれんの増加5,004百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ8,435百万円増加し、38,553百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加4,607百万円、短期借入金の増加4,043百万円などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,295百万円増加し、67,574百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加4,640百万円、為替換算調整勘定の減少2,487百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.7%減の63.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在抱えている課題解決に注力することで、企業体質の強化及び収益力の向上を図るとともに、積極的に事業拡大を進めることで企業価値の向上に努めてまいります。

通期連結業績予想につきましては、平成27年10月29日の決算短信で公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,969	20,517
受取手形及び売掛金	20,573	21,909
商品及び製品	19,698	25,529
仕掛品	100	155
原材料及び貯蔵品	792	710
その他	4,165	4,722
貸倒引当金	△88	△96
流動資産合計	68,212	73,448
固定資産		
有形固定資産	16,094	15,819
無形固定資産		
のれん	—	5,004
その他	2,488	2,972
無形固定資産合計	2,488	7,977
投資その他の資産		
その他	8,693	8,978
貸倒引当金	△91	△96
投資その他の資産合計	8,602	8,882
固定資産合計	27,184	32,679
資産合計	95,396	106,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,194	19,801
短期借入金	—	4,043
1年内返済予定の長期借入金	124	378
未払法人税等	1,552	1,001
賞与引当金	799	507
返品調整引当金	1,120	1,278
その他	5,441	4,285
流動負債合計	24,234	31,295
固定負債		
長期借入金	917	2,148
退職給付に係る負債	585	591
その他	4,380	4,518
固定負債合計	5,883	7,258
負債合計	30,118	38,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	30,238	34,878
自己株式	△672	△672
株主資本合計	58,596	63,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	900	956
繰延ヘッジ損益	△22	33
為替換算調整勘定	5,568	3,081
退職給付に係る調整累計額	235	266
その他の包括利益累計額合計	6,682	4,337
純資産合計	65,278	67,574
負債純資産合計	95,396	106,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	86,335	96,828
売上原価	39,604	42,007
売上総利益	46,730	54,821
返品調整引当金繰入額	796	157
差引売上総利益	45,934	54,663
販売費及び一般管理費	40,631	47,218
営業利益	5,303	7,445
営業外収益		
受取利息	116	248
受取配当金	70	79
持分法による投資利益	76	148
その他	213	186
営業外収益合計	476	663
営業外費用		
支払利息	12	62
固定資産除却損	51	48
為替差損	—	271
その他	13	2
営業外費用合計	77	385
経常利益	5,702	7,722
税金等調整前四半期純利益	5,702	7,722
法人税、住民税及び事業税	1,791	2,240
法人税等調整額	△229	△288
法人税等合計	1,561	1,951
四半期純利益	4,140	5,770
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,140	5,770

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,140	5,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	56
繰延ヘッジ損益	△137	55
為替換算調整勘定	760	△2,503
退職給付に係る調整額	31	30
持分法適用会社に対する持分相当額	16	16
その他の包括利益合計	958	△2,345
四半期包括利益	5,099	3,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,099	3,425

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,746	44,622	966	86,335	—	86,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,266	57	0	2,324	△2,324	—
計	43,013	44,679	966	88,659	△2,324	86,335
セグメント利益	44	5,158	70	5,273	29	5,303

(注) 1 セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去39百万円、棚卸資産の調整額△10百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,405	53,667	1,755	96,828	—	96,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,664	72	32	2,769	△2,769	—
計	44,069	53,740	1,787	99,597	△2,769	96,828
セグメント利益又は損失	932	6,574	△13	7,493	△48	7,445

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去32百万円、棚卸資産の調整額△80百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

III 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

第2四半期連結会計期間末において、Pedes Investments Limited社及びその子会社(イノヴェイトグループ)を連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「日本」「アジア」及び「北米」から、「日本」「アジア」及び「欧米」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円、%)

	アジア	北米	欧州 その他の地域	計
I 海外売上高	45,682	966	770	47,419
II 連結売上高				86,335
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	52.9	1.1	0.9	54.9

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円、%)

	アジア	北米	欧州 その他の地域	計
I 海外売上高	55,007	1,257	1,241	57,506
II 連結売上高				96,828
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	56.8	1.3	1.3	59.4

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。